三好達治全集

3

二好達治全集

3

筑摩書房

三好達治全集第三卷

昭和四十年十二月十日發行

著者　三好達治

發行者　古田晁

發行所　筑摩書房
東京都千代田區神田小川町二ノ八
電話東京(四)七六五一(代表)
振替東京四一二三

印刷　株式會社精興社
製本　株式會社鈴木製本所

© T. Miyoshi

三好達治全集第三卷目次

駱駝の瘤にまたがつて……五
駱駝の瘤にまたがつて拾遺……二一
百たびののち……一四三
百たびののち拾遺……二六七
「百たびののち」以後……二七三

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

（譯詩篇）

巴里の憂鬱……三〇九
「惡の華」抄……四六七
夜の歌……四八五

詩集目次……五四七
解題……五五九

駱駝の瘤にまたがつて

閒人斷章

秋風に

われはうたふ
越路のはての艸の戸に
またこの秋の蟲のこゑ
波の音
落日
かくてわれ
秋風に
ただ一つ

わが身の影を
うながすよ

馬おひむし

馬おひむしは馬をおふ
うたのあはれや
ものの端に

さるすべり

さるすべり
くさのいほりの戸に咲きて
ふたつなき日のはるかなる
ながたまづさも灰となる

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

時雨　四章

花木槿

人に面(おもて)も見すまじき
けふの心のかたくなを
しかはあれどもよしとする
ゆふべはしろき花木槿(はなはちす)

村雨

こゑありて見れば村雨
またありておつる日のかげ
秋は巷もひそかにて

ただとほしつくつく法師

しぐれの雨も

しぐれの雨もくれなゐに
軒ばの花のちる日かな
せんすべしらにとる筆の
墨にも花のおつ日かな

ひとり能なき

ひとり能なき越びとの
世をうれふとも何かせん
市(いも)に二合のものをかふ
しぐれの客とうらぶれて

爐邊　四章

くれなゐの

くれなゐの花はみな散り
よき友はみなはるかなり
神無月しぐれふる月
こぞの座にわれはまた坐す

いとはやく

いとはやくひと世はすぎぬ
天命を知るはこれのみ
くさびらを林にとると

腰たゆき時雨びとはや

わがうたを

わがうたをののしる人を
ものいふがままにまかせつ
にごりざけ窓にくむさへ
ともはなきけふの日ぐらし

又

わがうたをののしる人を
いかにわがうべなふべしや
いなまむもことはしげかり
耳ふたげきかざるまねす

殘紅　四章

殘紅

憂しといとひしすゑの世の
ちまたもけふはこひしけれ
日すがら海のこゑすなる
軒端にのこる花はまれ

くつわ蟲

黍の穗たかく月いでて
秋は越路のくつわむし
くつわ蟲とてましぐらに

海になくこそあはれなれ

鉦たたき

すずしき鉦をとをばかり
たたきてやみぬ鉦たたき
よべの歎きをまたせよと
あとはこゑなき夜のくだち

燈下

ふみをおほひてあればつと
こなたにわたる鳥のこゑ
つねなきものはおしなべて
夜をひとこゑのゆくへかな

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com